

# 牛の暑熱対策を行いましょ！

気象庁によると全国3か月予報6月～8月は「全国的に暖かい空気に覆われやすく向こう3か月の気温は高く、降水量はほぼ平年並」と予想されています。真夏の牛の体力低下を少しでも減らすために、効果的な暑熱対策に取り組みましょ！

## 牛舎の環境改善

《外からの熱を防ぎ、牛舎内の温度上昇を防ぎましょ》

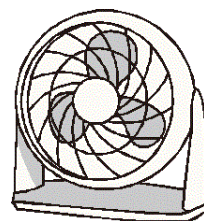
- ・屋根や壁に断熱材を設置、白色ペンキや石灰を塗布する。
- ・寒冷紗や緑のカーテンで直射日光を遮断する。
- ・こまめに除糞、残滓除去を行い、牛舎内の発酵熱やアンモニアの発生を減らす。
- ・周囲の水草を刈り、不要な物を片付けて風通しを良くする。



## 牛の暑さ対策

《牛の体感温度を下げましょ》

- ・換気をよくし、扇風機・ダクトの送風で牛舎全体の空気が十分に動くようにすることで体感温度を下げる。
- ・細霧装置を使用する場合は間欠で風を十分あてて3秒くらいで霧が消える様に設定する。湿度が高い日は細霧を中止するほうが望ましい。
- ・飼料添加：不足しがちなビタミン、ミネラル(鉍塩)、重曹、酵母(アシドーシス予防)等を投与する。



## 熱射病の症状と対応

症状は発熱、露舌、流涎、食欲不振、呼吸促迫  
熱射病の症状があらわれたら、獣医師に相談の上、必要があれば牛を外の涼しい場所に出し、水を後頭部と体に十分かける。その後、風をあてて体を冷やす。牛舎内の水浴びは、牛舎内の湿度を上げる原因となります。

